PDK-G型

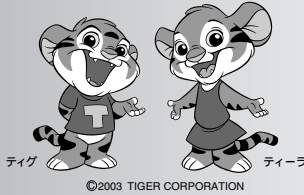
はじめに

家庭用

マイコン電動ポット

取扱説明書 保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

©2003 TIGER CORPORATION

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

便利な機能

お湯の保温温度が選べる
保温選択 P.8
98保温、90保温、70保温が選べます。

保温中のお湯を沸とうさせる **再沸とう** P.9

湯わかし時間を延長し、おいしいお湯がわかせる
カルキぬき P.10

6時間後にお湯がわく **節電タイマー** P.10

内容器の落ちにくい汚れが洗浄できる
クエン酸洗浄 P.13

点検、修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　）

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません）

もくじ

内容器や本体内部のポンプが汚れていると、お湯が出なくなることがありますので、クエン酸洗浄を行ってください。（P.13参照）

使いかた
困ったときは
その他

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差込プラグを抜く）

乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠警告

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

蒸気孔に触ったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。
沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

⚠注意

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。
また、火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

⚠警告

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

交流100V以外では使わない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
火災・感電の原因。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

満水目盛を超えて、水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、水が給水マークより少ない場合は、内容器の変色・故障のおそれ。

ふたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。
また、ふたの変形の原因。

水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。ふたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
ふたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
(残り湯のすてかたは、P.4・11参照)

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。

1 安全上のご注意

⚠ 注意

この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因。

蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

30cm

ふたを開けたりはずすときに出る蒸気や露にふれない。
やけどの原因。

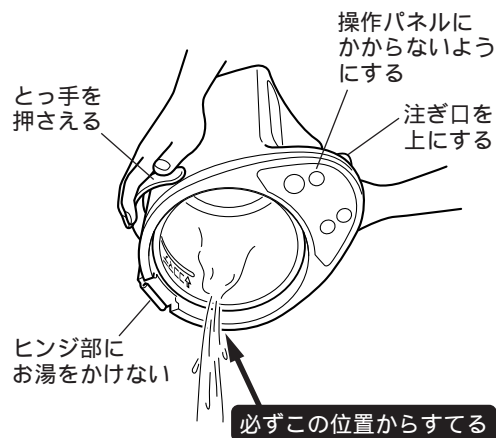
湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

給湯中に本体を動かさない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。
ふたが開いて、けが・やけどをするおそれ。

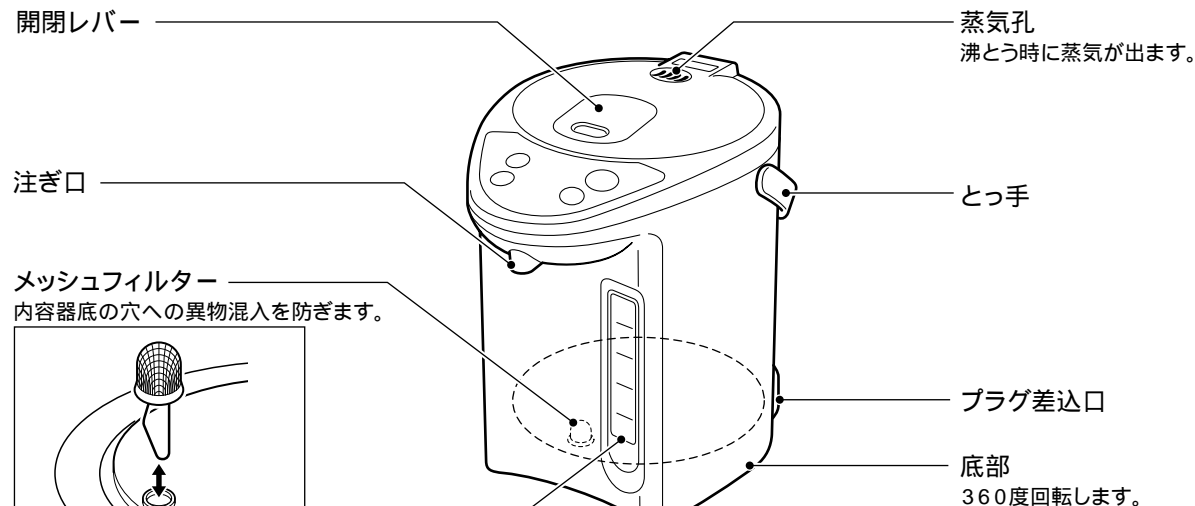
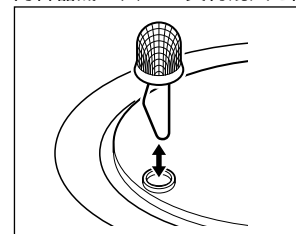
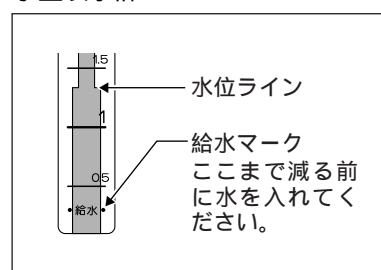
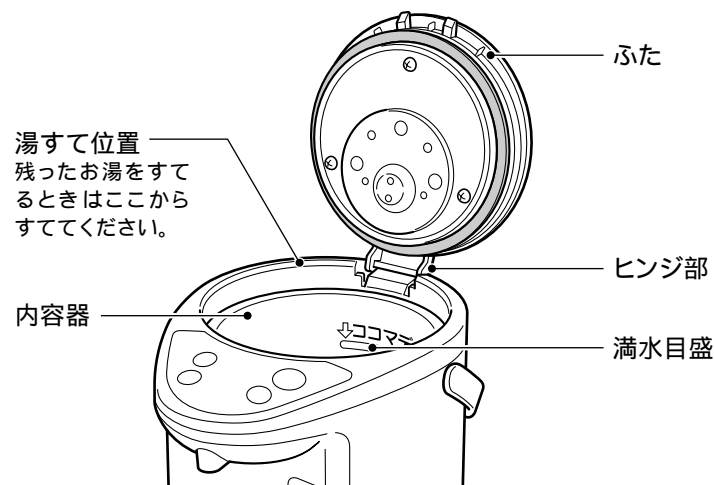
お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からすてる。
別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。またやけどのおそれ。

本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電・故障の原因。

本体をさかさにして置かない。
底部が水にぬれていると、底部から水が本体内に入り故障の原因。

末永くご使用いただくためのご注意

- **火気の近くでは使わない。**
  変形・故障の原因。
- **直射日光が長時間あたる場所では使わない。**
  本体が熱くなるなど、故障の原因。
- **カラだきをしない。**
  水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。
- **備長炭などの炭を入れて使わない。**
  故障、フッ素加工のはがれの原因。

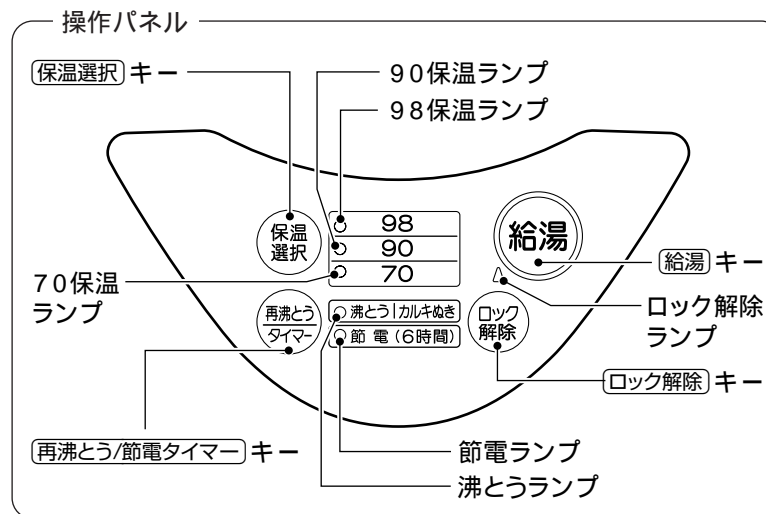
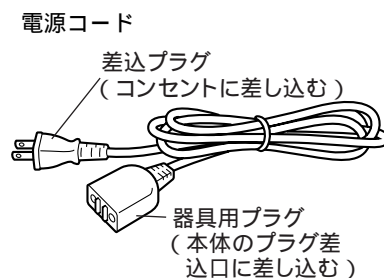
2 各部のなまえとはたらき

ご注意 本体を回すときは、プラグ差込口も同時に回るので、器具用プラグがはずれないように注意する。

〈操作パネル〉

付属品

〈電源コード〉

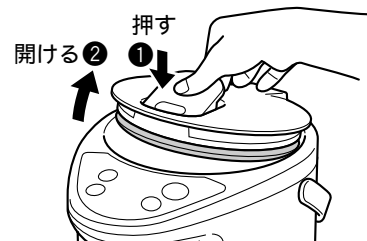
差込プラグ（コンセントに差し込む）

器具用プラグ（本体のプラグ差込口に差し込む）

音について

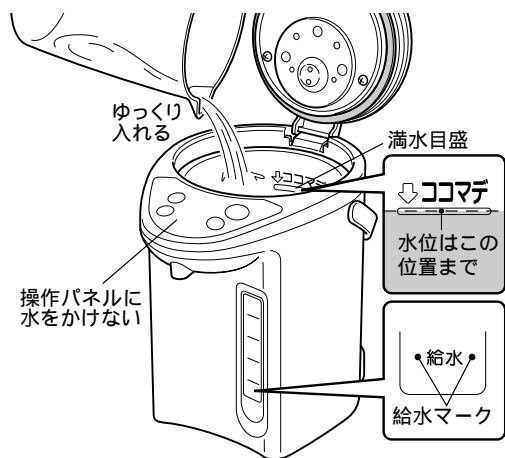
湯わかし中の「ゴー」という音は、内容器内で発生する泡がはじける音で、故障や異常ではありません。

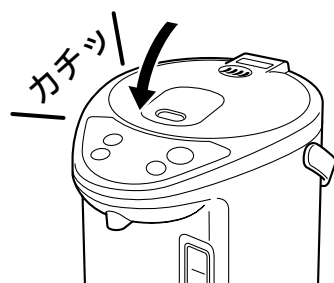
3 お湯のわかしかた

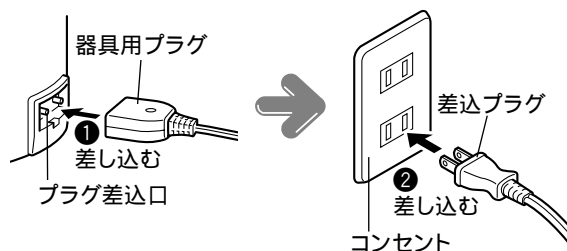
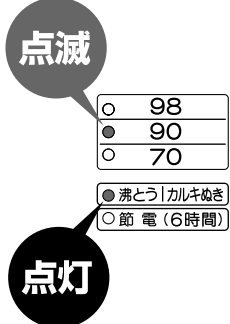
はじめてお使いになるときやしばらく保管されていたときは、一度手順通りにお湯をわかしてください。
その後、給湯して残り湯をすててからお使いください。

1 ふたを開ける

音 ふたを開閉するとき「カラ、カラ」と音がしますが、お湯の流出を防止する弁（せんバルブ）の音で異常ではありません。

2 水を別の容器で入れる

水は、「給水マーク」以上から「満水目盛」までの間に入れます。

ご注意
- ●蛇口から直接水を入れない。
  あふれるとショートや感電の原因。
- ●「満水目盛」を超えて水を入れない。
  お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれ。
- ●「給水マーク」より少ない水量で湯わかしをしない。
  カラだきによる内容器の変色、故障のおそれ。
- ●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を入れたときは、こまめにお手入れする。（P.12参照）

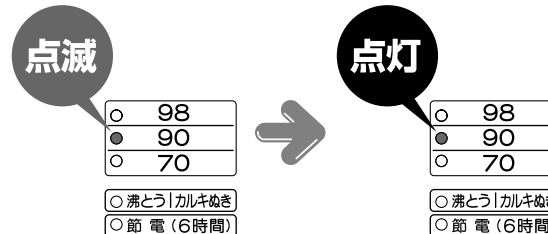
3 ふたを閉める

ご注意 ふたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が多量に出て、やけどをするおそれ。

4 電源コードを接続する

5 湯わかしがはじまる

※保温温度を選ぶときは、P.8参照。
（選ばない場合は、自動的に90保温になります。）
※カルキぬき沸とうをするときは、P.10参照。
※節電タイマーを設定するときは、P.10参照。

お知らせ 内容器に水が入っていない状態や、ご く少量の水でお湯をわかすと、ランプが交互に点滅してお知らせし、ヒーターへの通電がとまります。
（P.14参照）

6 自動的に保温する

■ 沸とうしたら…

■ 湯温が約90℃になると…
（90保温を選択しているとき）

ご注意
- ●蒸気にふれない。
  やけどをするおそれ。
- ●湯わかし中や直後は、ふたを勢いよく開閉したり、給湯しない。
  お湯が飛び散ったり、蒸気がふき出して、やけどをするおそれ。

沸とう時間と選択した保温温度になるまでの時間の目安

	2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
水から沸とうするまで(98保温)	約22分	約26分	約33分
沸とうしてから90保温になるまで	約30分	約35分	約41分
沸とうしてから70保温になるまで	約2時間20分	約2時間40分	約2時間40分

※水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100Vのとき。

4 お湯の注ぎかた

1 ロック解除 キーを1回押す

2 給湯 キーを押す

お湯を入れる容器を注ぎ口に合わせて 給湯 キーを押します。
押している間、注ぎ口からお湯が出ます。

※お湯が途切れるのを確認してから、容器を注ぎ口から離してください。
※プラグをはずすと、給湯できません。
※沸とう直後に給湯を行うと、お湯が出にくくなることがありますが、蒸気に注意してふたを開けると直ります。
※給湯後、約20秒間 給湯 キーを押さなかった場合、ロック解除ランプが消灯して自動的にロックされます。

ご注意
- ●湯量が少ないときに給湯を行うと、お湯が飛び散ることがあるので、注意する。
- ●本体がまわらないよう注意して給湯する。お湯がこぼれて、やけどをするおそれ。

3 ロック解除 キーを1回押す

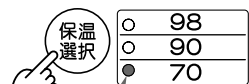
給湯 キーがロックされ、押しても給湯ができません。

5 保温温度の設定のしかた

お湯の保温温度は98保温（約98℃）、90保温（約90℃）、70保温（約70℃）の3種類から選択できます。

設定のしかた

[保温選択] キーを押して選ぶ。
押すごとに、保温ランプが移動します。

→ 90保温 → 70保温 → 98保温

※設定した保温温度になると、保温ランプが点滅から点灯に変わります。（時間の目安→P.7参照）

現在設定している温度より高い温度に切り替えた場合は、沸とうすることがあります。

設定中にプラグがはずれた場合、再度プラグを接続すると90保温になります。

「98保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約98℃で保温します。
カップめんを作るときやコーヒー、紅茶、番茶などを入れるときに最適です。

「90保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約90℃で保温します。
煎茶などを入れるときに最適です。
98保温に比べて保温時の電気代が節約できます。

「70保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約70℃で保温します。高級茶を入れるときに最適です。

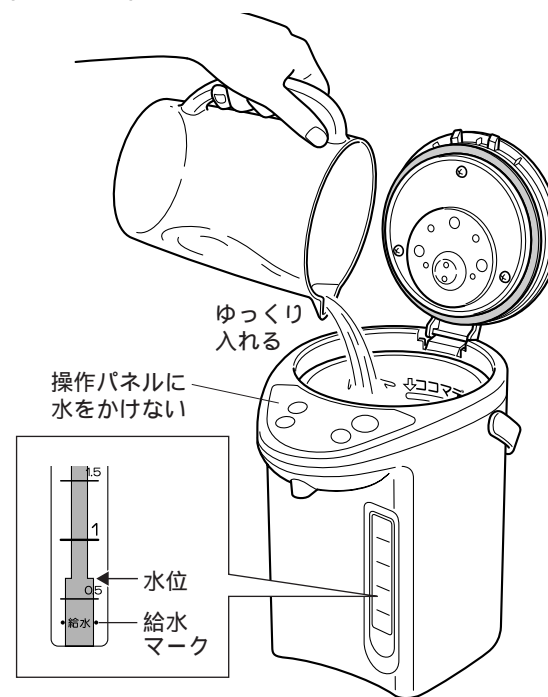
「70保温」で調乳をする場合

- **粉ミルクの調乳の際には、お手持ちの粉ミルクの記載内容に沿って調乳してください。**
- **調乳後、哺乳びんに流水をあてるか、冷水の入った容器に入れて、授乳できる温度（体温くらい）まで冷ましてから授乳してください。（授乳前に温度の確認は必ず行う。）**

ご注意

- 調乳する際、哺乳びんが熱くなりますのでやけどには充分ご注意ください。
- 調乳の前に、コップ1杯ほどのお湯を捨ててから調乳に使う。（水量表示計の水量管の中のお湯がぬるくなっている場合があるため。）
- 内容器に直接粉ミルクを入れない。こげつき・腐食・故障・やけどの原因。調乳は、必ず哺乳びんで行う。

6 給水のしかた

水量表示計の水位が給水マークに近づいてきたら、ふたを開け、必ず給水する。
(P.6参照)

ご注意

- 約60℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしが開始されないため、少しさめたお湯か水を入れる。または再沸とうさせる。（右記参照）
- ふたを開けるときは、蒸気にふれない。やけどをするおそれ。
- 水を入れずにそのまま放置しない。カラだきとなり、故障の原因。

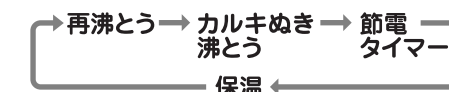
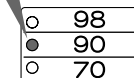
7 再沸とうのしかた

保温中のお湯を、再び沸とうさせることができます。

1 給水マーク以上のお湯が入っていることを確認する（P.6参照）

2 保温の状態で、[再沸とう/節電タイマー] キーを1回押す

押すごとに機能が切り替わります。

→ 再沸とう → カルキぬき沸とう → 節電タイマー → 保温 →

満水時に再沸とうするまでの時間の目安

	2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
98保温	約5～6分	約5～6分	約6～7分
90保温	約7～8分	約7～8分	約8～9分
70保温	約9～10分	約11～12分	約13～15分

※水をつぎ足したり、プラグを接続し直したときは、さらに約3～4分長くなります。

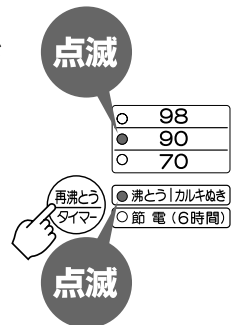
使いかた

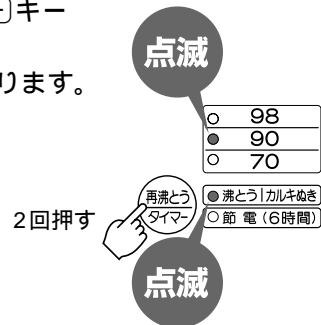
8 カルキぬき沸とうのしかた

カルキぬき沸とう機能は、通常よりも湯わかしの時間を延長して、お湯のカルキ臭を減らします。

ご注意 カルキぬき沸とうをするときは、給水マーク以上のお湯が入っていることを確認してから行う。

水からカルキぬき沸とうをする場合

プラグ接続後、
再沸とう/節電タイマー キーを
1回押す。
湯わかしがはじまります。

保温時にカルキぬき沸とうをする場合

再沸とう/節電タイマー キー
を2回押す。
再沸とうがはじまります。

9 節電タイマーの使いかた

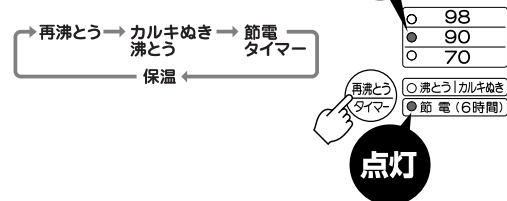
外出するときやお休みする前に節電タイマーをセットすると、通電をとめますので電気代が節約できます。
セットしてから約6時間後には、お湯がわいて通常通り使用できます。

1 98保温または90保温を選ぶ（P.8参照）

（P.8参照）

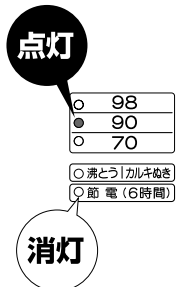
2 再沸とう/節電タイマー キーを押し、節電ランプを点灯させる

押すごとに機能が
切り替わります。

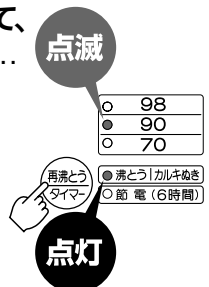
再沸とう → カルキぬき沸とう → 節電タイマー → 保温 →

■ 設定時間の1時間前になると…

湯わかしがはじまります。

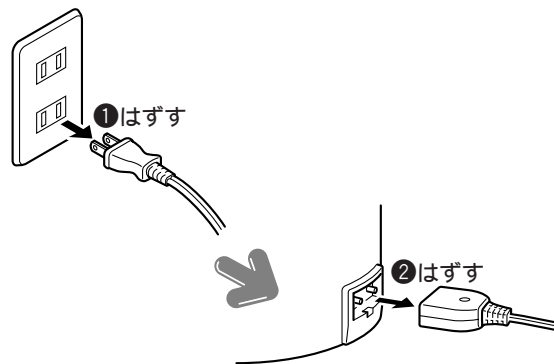
■ 湯わかしが終了すると…

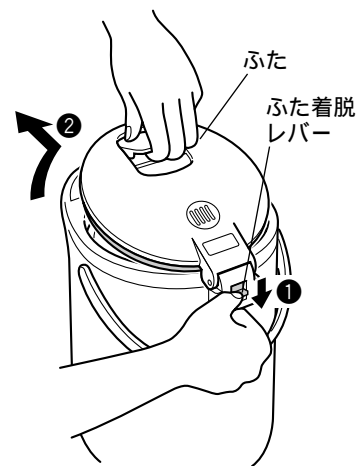
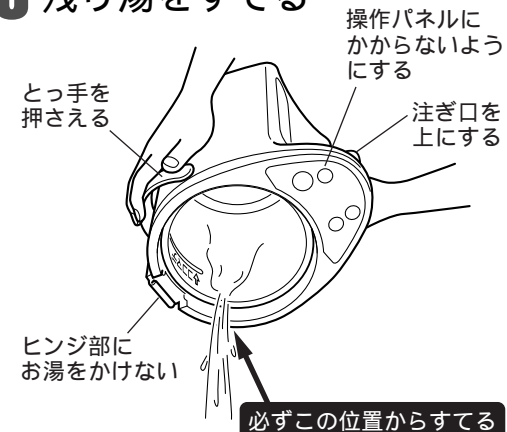
98保温または90保温で保温します。

ご注意 節電タイマーをセットすると以下の操作・機能は働きません。
・給湯
・70保温選択

節電タイマーを解除して、湯わかしをするときは…

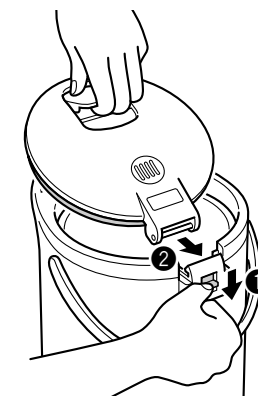
再沸とう/節電タイマー キー
を押し、沸とうランプ
を点灯させる。
湯わかしがはじまります。

10 使い終わったら

1 プラグをはずす

すべてのランプが消灯します。

2 ふたをはずす

ふた着脱レバーを押し下げながら、
ふたを注ぎ口側に引くように
開けてはずします。

3 残り湯をすてる

ご注意
- お湯が飛び散らないように、ゆっくりとすてる。また、できるだけお湯をすてる場所にポットを近づけてすてる。お湯が飛び散って、やけどをするおそれ。
- お湯をすてた後は、注ぎ口からしずくが落ちることがあるので注意する。

4 ふたを取りつける

ふた着脱レバーを押し下げながら、
ふたの引っかけ部を差し込みます。

ご注意
- 残り湯は放置しない。
  内容器の変色やにおいの原因。
- ふたをつけたままや注ぎ口を下にしたり、ヒンジ部からお湯をすてない。
  お湯が手にかかってやけどしたり、故障の原因。
- メッシュフィルターの取りつけかたが不充分な場合、残り湯をすてたときに抜け落ちることがあるので注意する。

11 お手入れのしかた

◆プラグをはずし、残り湯をすてて、冷えてからお手入れする。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

各　部	お手入れのしかた
内容器	❶メッシュフィルターをはずしてから、スポンジで洗う。 ご注意 ●クレンザーやたわし類を使わない。フッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなる原因。●フッ素加工をしていても長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり、湯わかし中の音が大きくなったりするので、こまめにお手入れする。●カラだきによる変色はとれません。●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合は、内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があり、故障の原因にもなるのでよりこまめにお手入れする。 ❷スポンジで洗っても落ちにくい汚れは、クエン酸（別売）で洗浄（2～3ヶ月に1回）する。（P.13参照） ■ 内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について 内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒色・虹色などの変色、白い浮遊物は、水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものです。内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、こまめにお手入れしてください。
ふた	かたくしぼった布で汚れをふき取る。
本体外側	かたくしぼった布で汚れをふき取る。
電源コード	乾いた布でふく。
メッシュフィルター	内容器からはずし、ブラシなどで洗う。 ご注意 ●こまめに洗う。目づまりすると、お湯が出にくくなる原因。●洗った後は、必ず内容器に確実に取りつける。

ご注意
●本体は、水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電のおそれ。
●丸洗いは絶対にしない。本体内部に水が入り、故障の原因。
●洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・金属たわし・ナイロンたわし・化学ぞうきんなどは使わない。
●食器洗浄機や食器乾燥器などは使わない。変形するおそれ。

クエン酸洗浄のしかた

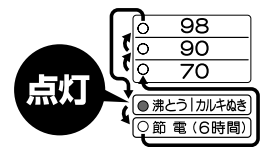
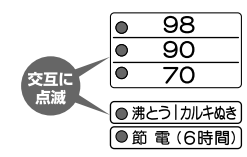
ご注意 内容器のクエン酸洗浄をするときは、下記の内容を必ず守る。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれ。
●お湯は入れない。必ず水から洗浄を行う。
●満水目盛以上の水を入れない。
●洗浄中は、ふたを開けない。
●洗浄中は、沸とうするので蒸気に注意する。

クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.15参照）で、品番：PKS-0120「電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）」とご指定のうえ、お買い求めください。
※内容器洗浄用クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

※クエン酸での洗浄中は、他の操作や機能は使えません。

内容器のにおいや汚れが目立ってきたら、内容器のクエン酸洗浄（2～3カ月に1回の目安で行う）

❶内容器にメッシュフィルターがセットされていることを確認する。
❷クエン酸 約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。
❸満水目盛まで水を入れて混ぜ合わせ、ふたを閉める。（P.6参照）
❹プラグを差し込み、保温選択キーと再沸とう/節電タイマーキーを同時に約3秒間押し続ける。

洗浄が開始されます。〈洗浄時間は約1時間30分以内〉
洗浄中はランプが、沸とう→節電→70→90→98と順に点灯します。

❺洗浄が終わると、3つのランプ(98・90・70)と、2つのランプ(沸とう・節電)が交互に点滅します。

❻プラグをはずしてお湯をすてる。汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分すすぐ。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後、再度クエン酸と水を入れて同じ操作を行ってください。
❼クエン酸の残り水を取るため、水だけで通常通りにわかし約半量を給湯してから、残りのお湯をすてる。

ご注意 クエン酸洗浄を途中で解除するときは、プラグをはずす。通常どおりお湯をわかすときは、必ずお湯（クエン酸の液）をすててから使う。

お湯が出なくなったら、本体内部のポンプのクエン酸洗浄（半年に1回の目安で行う）

内部のポンプにミネラル成分が固まって、お湯が出なくなることがあります。
そのときは、下記の手順で、内部のポンプをクエン酸洗浄してください。

❶メッシュフィルターを内容器からはずす。
❷クエン酸　約30g（大さじ2～3杯）を、コップ1杯のお湯（約200mL）で溶かし、内容器の底の穴に入れてふたを閉め、そのまま2時間放置する。
❸内容器の3分の1まで水を入れ、ふたをしめ、プラグを差し込んで沸とうさせる。（90保温を選択）
❹90保温の状態で、2～3時間放置する。
❺給湯キーを押して、お湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出す。
❻プラグをはずし、冷めてから内容器をスポンジで水洗いする。
❼クエン酸の残り水を取るため、水だけで通常通りにわかし約半量を給湯してから、残りのお湯をすて、冷めてからメッシュフィルターを取りつける。

長期間ご使用にならないときは

❶P.12の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
❷各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）
❸ポリ袋などで密封して保管する。

ご注意 保管するときは、ポリ袋などで密封して虫やほこりなどが入らないようにする。

12 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
沸とうランプと98保温ランプが交互に点滅する。（カラだき報知機能が作動。）	カラまたはごく少量の水で湯わかししていませんか。	プラグを抜き、水を給水マーク以上まで入れて、しばらくしてからプラグを接続する。	6
	お湯を使いきったまま長時間放置したり、ふたを開けたままで放置していませんか。		
	水をつぎたしたときに、勢いよく入れませんでしたか。	プラグを抜き、しばらくしてからプラグを接続する。	6
沸とうランプと90保温ランプが交互に点滅する。	給水やお手入れするときに、本体内部に水が入って故障している場合があります。お求めのタイガー製品販売店に修理をご依頼ください。		―
お湯がわかない。（すべてのランプがつかない、または、消えた。）	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続する。	6
沸とうランプに切り替わらない。	約60℃以上のお湯を入れていませんか。	少しさめたお湯か水を入れる。	9
		再沸とう/節電タイマー キーを押して、沸とうさせる。	9
お湯が自然に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以下にする。	6
お湯が出ない、出にくい。	本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにする。傾けた状態で給湯するとお湯が出ない場合があります。	―
	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続する。	6
	自動ロックになっていませんか。	ロック解除 キーを1回押してから給湯する。	7
	沸とう直後ではありませんか。	蒸気に注意して、一度ふたをあける。	7
	内容器やメッシュフィルター、本体内部のポンプが汚れていませんか。	内容器・本体内部のポンプをクエン酸洗浄する。	13
湯わかし中の音がいつもより大きい。	内容器が汚れていませんか。	内容器・本体内部のポンプをクエン酸洗浄する。	13

こんなときは	理　由	参照ページ
湯わかし中に「ゴー」という音がする。	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。	5
蒸気が出終わっても、沸とうランプが点灯している。	沸とう直後に給湯しますと、発生した泡がポンプに入ってお湯が出にくくなったり、お湯が飛び散ることがあります。これを防ぐために蒸気が出終わっても、沸とうランプが約3分間点灯しています。	―
お湯がにおう。	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	―
	水道水に含まれる消毒用の塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。→カルキぬき沸とうさせる。	10
	ビニールシートなどの敷物の上で使っていませんか。お湯に敷物のにおいが移ることがあります。	―
お湯がぬるい。	1杯目のお湯は水量表示計の水量管の中にたまっているお湯が給湯されるため、ぬるくなることがあります。	―
内容器が汚れている。お湯に白い浮遊物が浮く。	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。→内容器をクエン酸洗浄する。	13
本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。異常ではありません。	―

消耗部品について

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は消耗部品です。水質や使いかたにより異なりますが、ご使用にともない傷んできます。1年を目安にご確認ください。汚れや破損がひどくなったり、ふたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふたパッキンと交換（有償）してください。

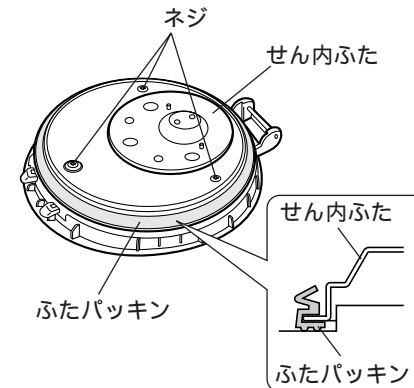
ふたパッキンのはずしかた

❶3本のネジをゆるめる。

ご注意 ネジはゆるめるだけでせん内ふたをふたからはずさない。完全にはずすとその他の部品がはずれるなどして蒸気もれやお湯が出ない原因。はずれてしまったときは下図[図-A]のように正しく取りつける。

❷ふたパッキンをはずす。

ふたパッキンのつけかた

❶せん内ふた外周に、ふたパッキンを図の通りにきっちりと均等にはめ込む。
❷最後にネジを確実に締めつける。

ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→下記参照）で、部品番号:PDA1090とご指定の上、お買い求めください。
※ふたパッキンを交換しても不具合のときは、その他のパッキン類、樹脂部品などが傷んでいる場合がありますので、お問い合せの上、お買い求めください。

樹脂部品について
熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお求めのタイガー製品販売店にご相談ください。

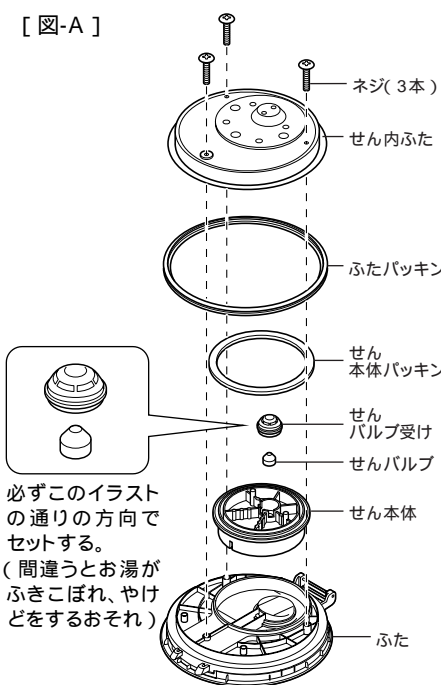
メッシュフィルター

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても汚れが取れない場合は交換してください。交換用のメッシュフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→下記参照）で「タイガー電気ポット用交換用メッシュフィルター」部品番号:PVH1045とご指定の上、お問い合せください。

[図-A]

仕様

サイズ		2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
定格容量		2.2L	3.0L	4.0L
電源		交流100V　50-60Hz		
湯わかし時の消費電力		905W	905W	905W
年間消費電力量*		382kWh/年	440kWh/年	529kWh/年
1日当りの消費電力量*		1.05kWh/日	1.21kWh/日	1.45kWh/日
外形寸法（約）（とっ手を倒した状態）	幅	21.2cm	21.2cm	21.2cm
	奥　行	28.0cm	28.0cm	28.0cm
	高　さ	25.4cm	29.4cm	34.4cm
質量（約）（電源コードを含む）		2.1kg	2.3kg	2.4kg
温度過昇防止装置（温度ヒューズ）		157℃		
コードの長さ（約）		1.2m		
電動ポンプの消費電力（約）		1.5W		

* JEMA（日本電機工業会）自主基準による測定（室温23℃、湯わかし2回／1日、再沸とう1回／1日、保温90℃で23時間／1日、365日／年間、その他水量等の試験条件：JEMA自主基準HD-112に基づく）
※特定地域（高山（こうざん）・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はお避けください。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社
本 社　〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**
ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-011101**
市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間:AM9:00～PM5:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）
※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ　TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。
ホームページアドレス　http://www.tiger.jp/